

今治市教育委員会
委員長 西原 透 様

大三島地区学校適正配置地元代表協議会
会 長 小野 功

大三島地区学校適正配置地元代表協議会の意見書の提出について

大三島地区学校適正配置地元代表協議会は、「今治市学校適正配置基本方針」（平成22年2月策定）に基づき、大三島地区の小学校・中学校の適正配置を検討するために、平成22年7月に設置されました。これまでに9回の協議を経て、次のとおり協議会としての意見を取りまとめましたので、提出いたします。

1 協議事項

「上浦小学校、大三島小学校」
「上浦中学校、大三島中学校」 の適正配置について

2 協議会としての意見

【小学校について】

将来推計から複式学級となる前には、大三島町内を設置場所として、上浦小学校と大三島小学校の統合を検討する。

【中学校について】

統合準備が整った後、年度当初から上浦中学校と大三島中学校を統合し、統合校を現上浦中学校の場所に設置する。

3 協議事項に対する考え方

当協議会では、「今治市学校適正配置基本方針」に示された、上記小学校および中学校の適正配置について検討した。

当地区では、急速に少子化が進み、1学年10数名の学年があるなど、学校が小規模化している。統合について検討する中で、協議会や説明会では主に、統合により友だちが増えることや、部活動が充実すること、教育面が充実することといったメリットが考えられるが、通学距離が遠くなる、小学校・中学校ともに統合となれば、9年間同じメンバーとなり人間関係が固定化してしまう、といった意見が挙げられた。意見を集約する中で、中学生は、体力的にも精神的にも力がついているため、まずは中学校を統合し、小学校については、今後の協議としてはどうか、という意見が出され、協議会としても、その方向で進めていくことに決定した。

当地区においては、学校を統合しても、上浦町または大三島町のどちらかに、小学校と中学校を偏らせないでほしい、という意見が強い。このことから、両地区の小学校と中学校をそれぞれ組み合わせ、各校の施設状況を示した資料が事務局から提出された。同資料を添付し、保育所、小学校、中学校の保護者を対象にアンケートを実施した結果、「平成25年度～平成27年度に中学校が統合することに賛成」が78.6%、「いずれ小学校が統合することに賛成」が75.7%であった。保護者の概ねの合意が得られたことから、当協議会としては、中学校については統合準備が整った後、年度当初から統合、小学校については複式学級になる前に統合を検討するという結論に達した。

統合校の設置場所については、協議委員からの提案により、施設見学をするなど前向きに検討したが、最終的な結論に至らなかったため、専門的見地からの助言を教育委員会事務局に求めた。その上で、当協議会としては、統合中学校を現上浦中学校の場所に設置するという結論に達した。小学校については、住民基本台帳等による将来推計から、複式学級となる前には、大三島町内を設置場所として、小学校2校の統合を検討することとした。

4 配慮すべき事項

- ・ 統合に向けて、保護者、教職員、地域と教育委員会が連携を図り、子どもたちの不安を解消していただきたい。また、統合後についても、在学中で統合する児童生徒の心理的な面に配慮していただきたい。
- ・ 旧町を越えて通学する児童生徒について、安全に通学ができるよう配慮していただきたい。通学バスの便については、部活動後の下校時間にも対応するなど工夫していただきたい。
- ・ 耐震補強などの施設整備に努めていただきたい。
- ・ 地域行事などにおいては、統合後も地域と学校との協力関係がつけられるよう配慮していただきたい。